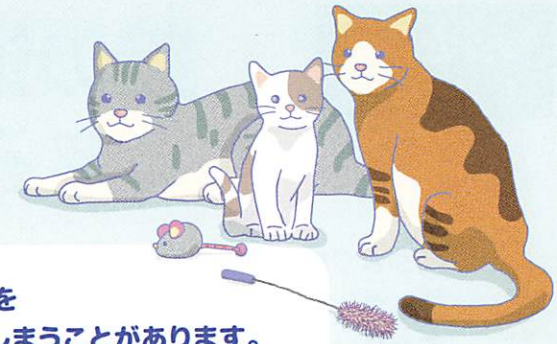


# 病院から帰ってきたら？ 多頭飼育家庭のためのヒント



**Q** 病院から猫を連れて帰ってくると、同居している他の猫が威嚇をしたり、攻撃をしたりします。普段はこんなことはないのにどうして？

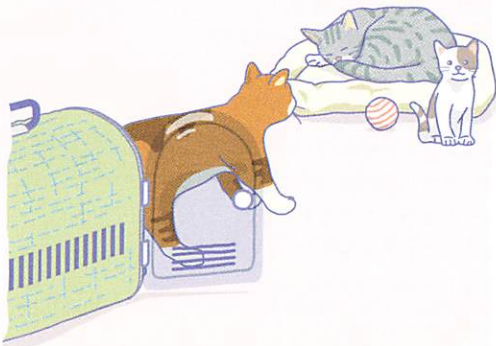
**A** 病院の匂いをまとい帰ってきた同居猫を「知らない猫」と認識し、攻撃対象にしてしまうことがあります。特に不妊手術や歯石除去などで病院に長くいた後や、長期入院の退院時には、よりターゲットになりやすいようです。

病院へ迎えに行くとき → 飼主や家の匂いが強くしみた敷物などを用意して、迎えに行きましょう。

病院から帰宅したら → 帰宅した猫は数分間キャリーケースに入れたままにして、他の猫たちの反応を見ましょう。

## 他の猫が静かに 落ち着いているとき

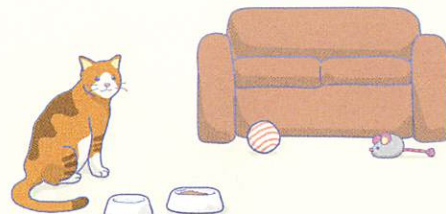
帰宅した猫をキャリーケースから出してもOKです。



## 他の猫に緊張が見られるとき (シャーシャー言う、唸る、遠巻きに観察し近づかない、など) 以前にけんかをした経験があるとき



**1** 帰宅した猫をキャリーケースに入れたまま別の部屋へ連れて行き、フード、水、トイレを与え、家の馴染みの匂いを回復するまで最低24時間様子を見ます。



**2** 帰宅した猫と緊張が見られる猫の顔(頬のあたり)をそれぞれ別のタオルで拭き、互いのタオルの匂いがかがせましょう。これを数回繰り返します。

\*おやつを与えながらおこなうと、「相手の匂い→おやつ→良いこと」と認識して、受け入れやすくなります。



**3** キャリーケースだけを持って行き反応がないことを確認してから、病院から連れ帰った猫をキャリーケースに入れて、またお見合いをさせます。

\*うまくいかないときは、時間をかけて②と③を繰り返しおこなってください。



# 猫の通院ストレスを軽減するために できること ~はじめてのキャリーケース・トレーニング~



猫がより快適な生活を送り、長生きするためには、獣医師による定期的なケアが必要です。動物病院が苦手な猫には、まず移動手段である**キャリーケースを「安全な場所」と認識させることが、通院ストレスを減らすための、もっとも簡単で重要な方法です。**

## トレーニングのポイント

- 飼主はいつもリラックスしていること。
- 絶対に急がないこと。子猫や嫌な経験が少ない猫ほどトレーニングは早く進みます。
- 慣れてきたら、胴輪をつけてキャリーケースに入れるようになるとより理想的です。

## キャリーケースの準備

キャリーケースは猫が落ち着ける静かな場所に置き、猫の好きな素材や匂いのする敷物を中に入れます。

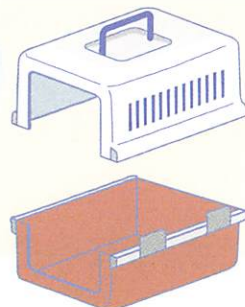
### おすすめのキャリーケース

キャリーケースの中から無理なく猫を出しやすいタイプを選びましょう。

出入り口が前後についているタイプ



上下に分割できるタイプ



### キャリーケースの大きさ

猫が「伏せ」をしたときの足先から尾の付け根までの長さが目安。大きすぎても安定しません。

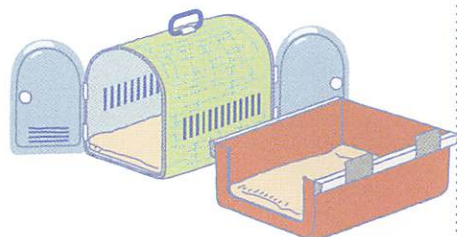
伏せたときの足先から尾の付け根までの長さ



## トレーニングの方法

### はじめに

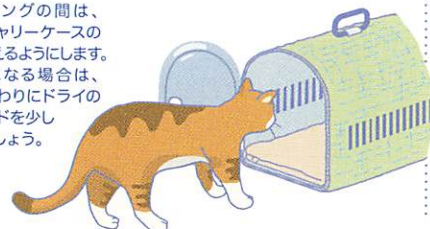
トレーニング開始後約1週間は、キャリーケースは下側のみ使用するか、または前後の扉を開けばなしにしておきます。



### ① キャリーケースに入る

大好きなおやつを少しずつ中に入れ、何度も入る練習をしましょう。慣れてきたら、徐々にキャリーケースの中にいる時間を延ばします。15分位いられたら、室内の別の場所でもトレーニングをしてみましょう。

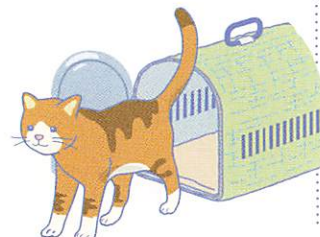
\*トレーニングの間は、おやつはキャリーケースの中だけで与えるようにします。肥満が気になる場合は、おやつの代わりにドライのキャットフードを少しずつ与えましょう。



### ② キャリーケースから出る

キャリーケースの扉を開けて、猫が自分から出てきたら、すぐに大好きなおやつを与えましょう。リラックスして①と②ができるようになるまで繰り返します。

\*キャリーケースの中で猫が目丸く見開いてうずくまって動かない場合は、緊張しているので、そのまま放置してその場を離れましょう。

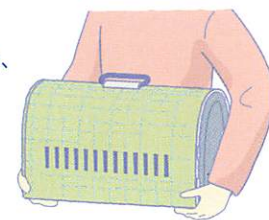


### ③ キャリーケースで移動する

●家で移動の練習  
手持ちのハンドルがついていても、両手で持ち、自分の身体に密着させて運ぶようにします。

●車で外出する\*  
車に乗せる、エンジンをかける、短距離のドライブをするなどステップを踏んで慣らしていきます。

\*ドライブの時は、キャリーケースを布で覆うなどして周りが見えないようにすると慣れやすいようです。



# 猫に快適なトイレづくりのポイント

膀胱炎やトイレの失敗などのトラブルの予防のためにも、  
猫がストレスなく安心して排泄ができる快適なトイレづくりを目指しましょう。



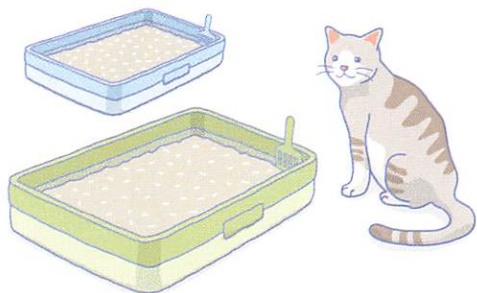
## 猫の通常の排尿行動

- 姿勢 雄・雌ともに排尿時の姿勢は似ています
- 回数 1日に2~3回排尿します(個体差があります)
- 場所 一度決めた排尿場所を続けて使います

- ▼ 前足で砂に小さな穴を掘る
- ▼ 穴の中に尿が入るようにしゃがみ込む
- ▼ 体の後ろ側をわずかに浮かせて、尾を緊張させる
- ▼ 尿を一気に排泄する
- ▼ 排尿後、前肢で覆うように砂をかける

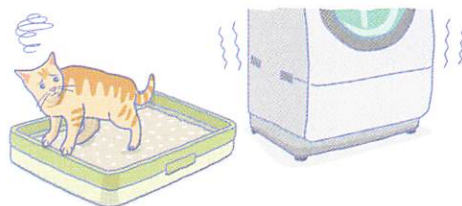
## 1 トイレの数

- 清潔なトイレを確保するために、トイレの数は  
猫の飼育頭数+1個が理想的です。



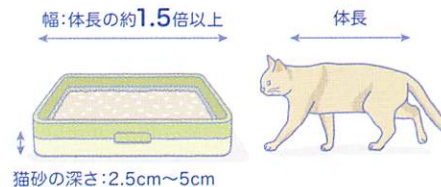
## 2 トイレを置く場所

- 猫は安全な場所で排尿します。
- 食事場所から離し、アクセスしやすい静かな場所に置きましょう。  
(仲の悪い猫がいるときは特に重要)
- 鏡、窓ガラス、大きな音、振動などは、猫がトイレを避ける原因となるので注意しましょう。



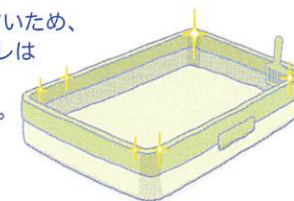
## 3 トイレの大きさ、かたち、猫砂

- 猫の体長よりも大きいトイレを選びましょう。
- 排泄物をかくせるように、好みの猫砂を十分な深さで用意しましょう。



## 4 トイレの清潔さ

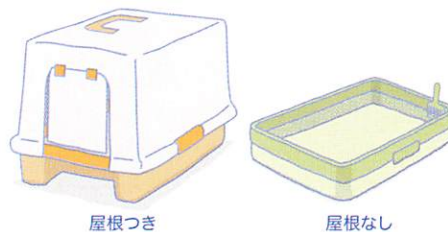
- 猫は清潔なトイレを好みます。
- 毎日1回は便/尿をすくい取り、清潔さを保ちましょう。
- 毎月1回はトイレを洗浄し、日光消毒したあと使用しましょう。
- においがつきやすいため、プラスチックトイレは1~2年ごとに取り替えましょう。



## トイレの好みを知るには?

- 猫の好みに合ったトイレを見つけましょう。
- トイレ使用時間は、猫がトイレをどの程度気に入っているかの目安になります。
- タイプの異なるトイレを並べて試してみましょう。

タイプ例

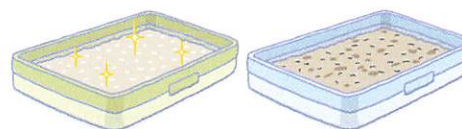


猫砂例



## トイレ切り替えのポイント

- 新しい種類の猫砂に替えるときは?  
古い砂のトイレと新しい砂のトイレを並べ、新しい方も猫が使用することを確認して、古い方を取り除きます。

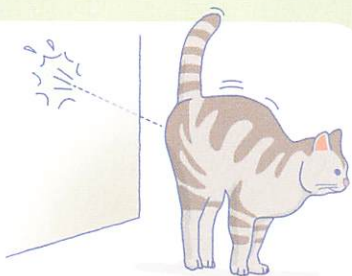


- 新しいトイレに替えるときは?  
古いトイレのそばに新しいトイレを置きます。

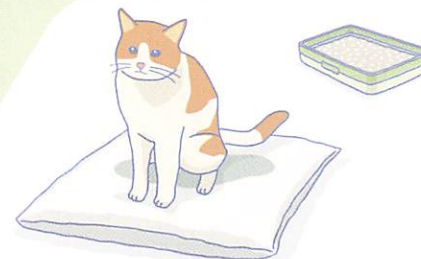


# 猫の“おしっこのトラブル”について知ろう！

家の中で問題となる猫の排尿行動には、2つの種類があります。



おしっこのトラブル対策には、猫のためにストレスの少ない環境を整えてあげることが大切です。病気が隠れていることもあるので、気になることはまず動物病院へ相談してみましょう。



## 尿マーキング(尿スプレー行動)

尿による、自身のおいづけの行動

立ったまま、お尻を壁などの垂直な場所に向け、尾を上にあげて震わせながら、少量の尿をスプレー状に吹き付ける  
(座って行うタイプもある)

少量～ときに大量/膀胱を空にしないことが多い

1日に数十回

においが薄れると同じ場所に噴霧する

垂直面(水平面のこともある)

目立つ場所や決まった場所

普段の排泄時には使用している

なわばりの主張

発情時のコミュニケーション

ストレス時の転位行動\*

行動

姿勢

量

回数

場所

トイレの使用

理由

## 不適切な場所での排泄(そそう)

決められた排泄場所以外で排尿する行動

決められたトイレ以外で、床などの水平な場所に座って通常の排尿をする

大量/膀胱を空にする

1日に数回

普段の排尿回数と同程度

水平面

吸収の良い場所や素材が好みの場所

普段の排泄時に使用しないことがある

トイレの環境が悪い

トイレでのいやな経験

好みに合わないトイレ

排泄に関する病気

\*転位行動とは？ 不安などのストレスを感じたものの、そこから逃れられないという葛藤状態におかれたとき、まったく別の行動をとってしまうことを「転位行動」と言います。たとえば、人が緊張したときに髪をいじることや、イライラしたときに爪を噛むことも転位行動と言われています。

# 猫に快適なトイレづくりのポイント

膀胱炎やトイレの失敗などのトラブルの予防のためにも、  
猫がストレスなく安心して排泄ができる快適なトイレづくりを目指しましょう。



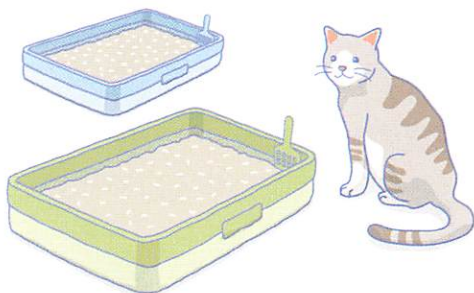
## 猫の通常の排尿行動

- 姿勢** 雄・雌ともに排尿時の姿勢は似ています
- 回数** 1日に2〜3回排尿します(個体差があります)
- 場所** 一度決めた排尿場所を続けて使います

- ▼ 前足で砂に小さな穴を掘る
- ▼ 穴の中に尿が入るようにしゃがみ込む
- ▼ 体の後ろ側をわずかに浮かせて、尾を緊張させる
- ▼ 尿を一気に排泄する
- ▼ 排尿後、前肢で覆うように砂をかける

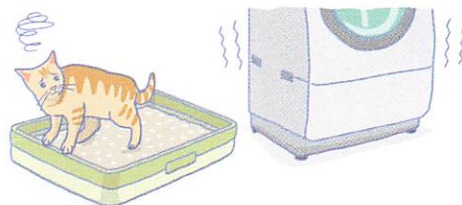
## 1 トイレの数

- 清潔なトイレを確保するために、トイレの数は**猫の飼育頭数+1個**が理想的です。



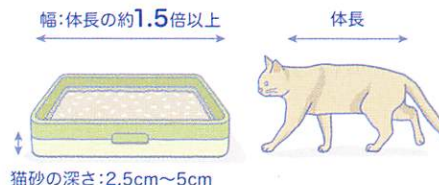
## 2 トイレを置く場所

- 猫は安全な場所で排尿します。
- 食事場所から離し、**アクセスしやすい静かな場所**に置きましょう。(仲の悪い猫がいるときは特に重要)
- 鏡、窓ガラス、大きな音、振動などは、猫がトイレを避ける原因となるので注意しましょう。



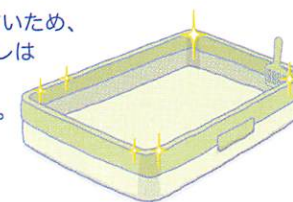
## 3 トイレの大きさ、かたち、猫砂

- 猫の**体長よりも大きいトイレ**を選びましょう。
- 排泄物をかくせるように、**好みの猫砂を十分な深さ**で用意しましょう。



## 4 トイレの清潔さ

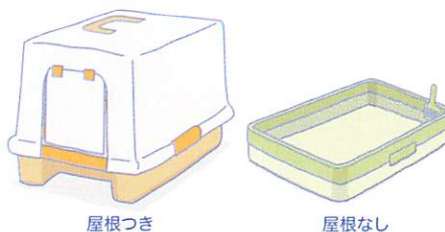
- 猫は**清潔なトイレ**を好みます。
- 毎日1回は便/尿をすくい取り、清潔さを保ちましょう。
- 毎月1回はトイレを洗浄し、日光消毒したあと使用しましょう。
- においがつきやすいため、プラスチックトイレは1〜2年ごとに取り替えましょう。



## トイレの好みを知るには?

- 猫の好みに合ったトイレをみつけましょう。
- トイレ使用時間は、猫がトイレをどの程度気に入っているかの目安になります。
- タイプの異なるトイレを並べて試してみましょう。

タイプ例

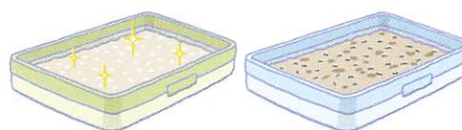


猫砂例



## トイレ切り替えのポイント

- 新しい種類の猫砂**に替えるときは?  
古い砂のトイレと新しい砂のトイレを並べ、新しい方も猫が使用することを確認して、古い方を取り除きます。

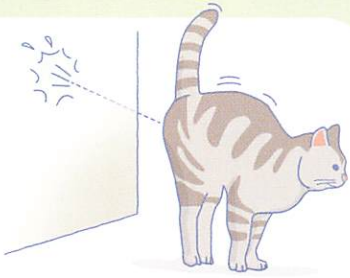


- 新しいトイレ**に替えるときは?  
古いトイレのそばに新しいトイレを置きます。



# 猫の“おしっこのトラブル”について知ろう！

## 家の中で問題となる猫の排尿行動には、2つの種類があります。



おしっこのトラブル対策には、猫のためにストレスの少ない環境を整えてあげることが大切です。病気が隠れていることもあるので、気になることはまず動物病院へ相談してみましょう。



### 尿マーキング(尿スプレー行動)

尿による、自身のおいづけの行動

立ったまま、お尻を壁などの垂直な場所に向け、尾を上にあげて震わせながら、少量の尿をスプレー状に吹き付ける  
(座って行うタイプもある)

少量～ときに大量/膀胱を空にしないことが多い

1日に数十回

においが薄れると同じ場所に噴霧する

垂直面(水平面のこともある)

目立つ場所や決まった場所

普段の排泄時には使用している

なわばりの主張

発情時のコミュニケーション

ストレス時の転位行動※

行動

姿勢

量

回数

場所

トイレの使用

理由

### 不適切な場所での排泄(そそう)

決められた排泄場所以外で排尿する行動

決められたトイレ以外で、床などの水平な場所に座って通常の排尿をする

大量/膀胱を空にする

1日に数回

普段の排尿回数と同程度

水平面

吸収の良い場所や素材が好みの場所

普段の排泄時に使用しないことがある

トイレの環境が悪い

トイレでのいやな経験

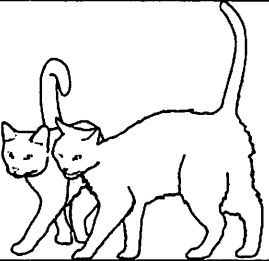
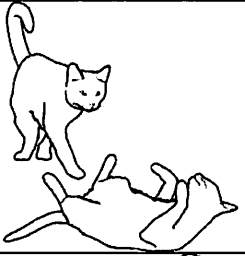
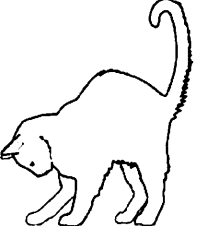
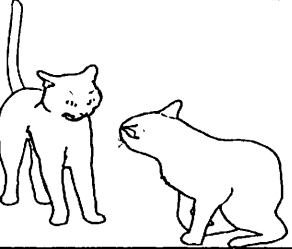
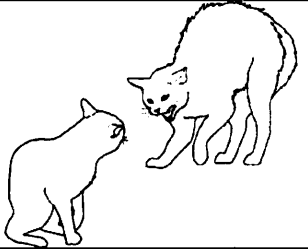
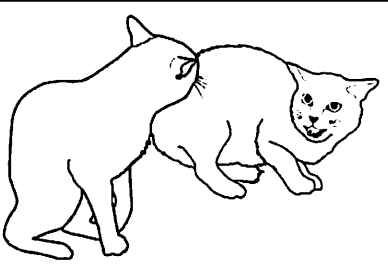
好みに合わないトイレ

排泄に関する病気

※転位行動とは？ 不安などのストレスを感じたものの、そこから逃れられないという葛藤状態におかれたとき、まったく別の行動をとってしまうことを「転位行動」と言います。たとえば、人が緊張したときに髪をいじることや、イライラしたときに爪を噛むことも転位行動と言われています。

## ネコの身体表現を観察してみましょう

ネコは自分の気持ちを相手へ伝えるために、体で気持ちをあらわすこともしています。  
仲良し・対立時の気持ちの目安のひとつとして、以下のような身体表現がみられることがあります。

仲良しの身体表現	
	<p>ネコが親しみを持って相手に近づくときは、尾がまっすぐ上に伸び、ひげが前を向き、顔や頭を他の猫や人へこすりつけたりします。 あいさつのときや、何か新しいものを興味津々で探索するときなどに見られます。</p>
	<p>ネコが遊びたいときは、転がっておなかを見せることがあります。 (雌ネコの場合は発情・交尾の際にも、この姿勢をとることがあります。)</p>
	<p>ネコはハッピーなときや、遊びたかったりするときに、背中の上の方へ尾を丸めたり、尾を早く動かしたりすることがあります。瞳孔（ひとみ）は大きくなり、耳は前を向いています。 しかし、尾をすばやく動かしている猫はとても興奮していることがあるので、攻撃的になったり、咬んだり引っかいたりするような場合は一緒に遊ばないほうが良いでしょう。</p>
対立の身体表現	
	<p>攻撃しようとしているネコ（イラスト左）は、体がまっすぐ前を向いた姿勢をとり、瞳孔（ひとみ）が細くなり、尾をすばやく左右に振ったりします。 耳は後ろを向き、ひげは前を向きます。</p>
	<p>ネコが他のネコから身を守ろうとするときは（イラスト右）、背中を丸めて体を後ろの方へ引き寄せます。尾をととも早く動かし、背中の上へ丸めたり、後ろ足の間にしまったりします。耳は平らに寝た状態となり、瞳孔（ひとみ）が大きくなり、体の毛が逆立ちます。 できるだけ自分を大きく見せ、相手を威嚇するためにこのような姿勢をとります。</p>
	<p>脅威が近くにあるときは、防衛側のネコ（イラスト右）はおなかと足を地面につけます。耳とひげは後ろを向き、頭に対して平らに寝た状態となり、歯を見せることもあります。犬と違って、ネコは逃げ場の無いときに攻撃を止めさせようと服従の意思を示すときや、ケージの隅や家具の下で、手足全部を使つて、どこからでも攻撃できるようにしたいときに、おなかを見せます。</p>

Adapted from Kessler MR, Turner DC. Stress and adaptation of cats (*Felis silvestris catus*) housed singly, in pairs and in groups in boarding catteries. *Animal Welfare* 1997;6:243-254, Beaver BV. *Feline Behavior: A guide for veterinarians*. St. Louis: Elsevier Science, 2003:349, and UFAW Animal Welfare Research Report No. 8; An ethogram for behavioural studies of domestic cats, 1995.

【参照】米国オハイオ州立大学ホームページ（英文）[Reading your cat's body language] <http://indoorpet.osu.edu/cats/>